

平和

くらし

人権

福祉

一緒につくりましょう

希望が持てる社会を

日本共産党



市民も飛び入りの平和宣伝に参加。4月8日



26年度予算

日本共産党反対

26年度市予算は、過去最大規模の896億円となり、市民税は初の200億円超えに。しかし福祉や市民サービスの拡充には直結せず、大型公共事業に大盤振る舞いとなり、日本共産党は反対しました。

新年度が幕開けしました。が、国外では紛争が相次ぎ、国内でも憲法「改正」や軍事費の大幅増額が優先されています。しかし、平和を求め運動は力強く、世界的規模で広がっています。国内では、願い実現を求める世論に押し寄せられ、ガソリン暫定税率の廃止、小学校給食一部無償化が実現しました。政治や社会は変わるし、変えられます。希望が持てる社会の実現に向けて、一緒に力をあわせましょう。



市民アンケートにご協力ください。日本共産党市議団では、市民アンケートに取り組んでいます。※現時点で600通以上の返信を頂きました。ご協力ありがとうございます。次号民報で中間報告を予定しています。

市民と力あわせ 25・26年 実現 日本共産党市議団の実績

- 水道基本料金の減免(6～9月)
- お米券配布
- 带状疱疹ワクチン接種助成の年齢拡大
- 高齢者の補聴器購入費助成の新設
- 地域包括支援センターの職員増員・委託費増額
- 低所得者へのエアコン助成増額
- 産後ケアにレスパイト導入
- 子どもの権利条例の制定着手
- 地域子育て支援拠点の新増設
- 附属幼稚園の事実上の廃園方針凍結
- 東小学校、流山小学校の校舎リニューアル工事着手
- フリースクール通学助成の新設
- 段ボールベッドの公的備蓄
- 北消防署の増設・大規模改修を約束(R11年度)
- 管理不全空き家の規定策定
- 路上喫煙防止重点区域の拡大
- ほつとプラザ下花輪のミストサウナ修繕
- 投票所の環境整備の改善
- 花火大会での女性専用トイレの新増設

『いざきロード』予算削除の修正案を提出

ムダ使いやめれば願いは実現できる

市長は、『いざきロード』(おたかの森駅近くの道路再整備事業)に2億7千万円をつぎ込む予定です。一方、拡充が求められた「高齢者・障害者の移動支援」、「自治会への支援」、「就学援助」、「文化・芸術活動の支援」等、約2500万円は予算化されませんでした。

日本共産党は予算委員会に関係予算を削除する修正案を提出し、市長の強引な手法に

対峙しました。『いざきロード』には市民から安全性等に疑問や懸念が噴出。市議会でも批判や懸念の声が相次いでおり、いつたん立ち止まるべきです。



「再整備」すると歩行者の横断に支障も...

身近な要求実現

老朽校舎リニューアルへ設計着手(流山小学校)



いぬいえり



東部中学校周辺道路の修繕・草刈り

高橋あきら



植田和子

消えていた横断歩道復活(東深井交差点)



小田桐たかし

初石駅の新駅舎・自由通路完成

